

事業所理念	今日一日を生きよう、希望ある明日のために。共に育ち合い、支え合う。「楽しい！」を出来る力に繋げる。		
支援方針	利用者それぞれの特性やニーズに合わせた支援を集団活動に取り入れ、適応力・社会性を伸ばす支援を行っています。		
営業時間	平日10:00～18:30 土曜日・祝日・長期休み 9:00～18:00	送迎実施の有無	あり・なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・健康な心と体を育む事が出来るように、意思表示が困難である子どもたちの発達過程や特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援する。 ・食事・睡眠・排せつ・着替えなど、基本的な生活習慣を身に付け、安定した生活を子ども自身で送れるよう練習を重ねる。	
	運動・感覚	・正しい姿勢の保ち方を身につけ、運動機能や筋力の向上を図る。 ・公園など遊具遊びの提供、バランスボールやサーキットトレーニングなどを通し、筋力や全身の感覚及び体幹を鍛える。	
	認知・行動	・空間や物の概念形成を促し、適切な距離や行動の習得を支援する。 ・情報の処理、コミュニケーションの難しさから生ずる行動問題の予防方法を考える。 ・目的がない時間を辛く感じるお子さんもうらっしゃるため、待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考え支援する。	
	言語・コミュニケーション	・文字や記号、ジェスチャーや絵カードなどを用いて、言葉や様々なコミュニケーションを学ぶ。 ・相手の話を理解したり、自分の気持ちを言葉で伝えるなど「伝わる」経験を重ねられるよう支援する。	
	人間性・社会性	・集団活動への参加や余暇の遊びの中で信頼関係の築き方を学びながら、不適切な行動には注目せず、適切な行動が出来るように支援する。 ・お友達や支援者とのコミュニケーションを通して協調性や思いやりを育む支援を行い、人間関係について学ぶ。また、公共施設利用や買い物支援等の活動を通して、社会性を身につけ、自立に向けて実践的に学べるように支援する。	
家族支援	本人が伝える言葉や行動停止・不満の表出等の様子を送迎や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する。 家族からの相談に都度対応し、速やかな解決を図っている。	移行支援	日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法などを共有を図る
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。	職員の質の向上	社内研修の実施及び社外研修への参加。 毎日振り返りを行い、支援の中での気付きや変化は職員間で共有を行う。
主な行事等	春:お花見ウォーキング 夏:プール、海水浴 秋:紅葉ウォーキング 冬:クリスマス会、初詣 祝日には、動物園や馬事公苑や水族館などにお出かけし、レストランなどで外食支援を行っている。		